

大阪経済の情勢

(2023年9月指標を中心に)

2023年 11月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチセンター)

「大阪経済は、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;8月)は増加。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少。公共投資は増加。輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は減少。主要国向けでは、アジア向け・中国向け・ASEAN向けで減少。輸入額は減少。

供給面では、生産動向は、一進一退で推移している。大阪府(8月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(8月)は上昇。全国の生産(9月)は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(8月)は低下。

先行きでは、物価上昇等による経済への影響や、世界の経済・金融の動向について、引き続き注意が必要。

		需要							
		消費				投資		貿易・観光	
	総合 一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
9月		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
8月	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

		供給				
		生産		倒産	雇用	
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)	
9月		▲	▲	▲	▲	▲
8月	▲	▲	▲	▲	▲	▲

*前年同月と比較し、上向き矢印は「景況改善」、下向き矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向き矢印となる。

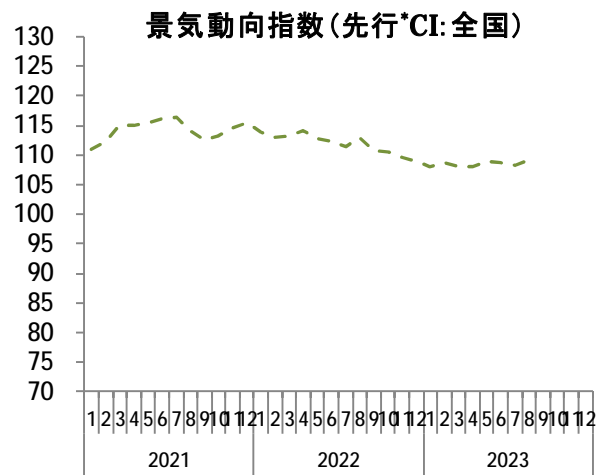
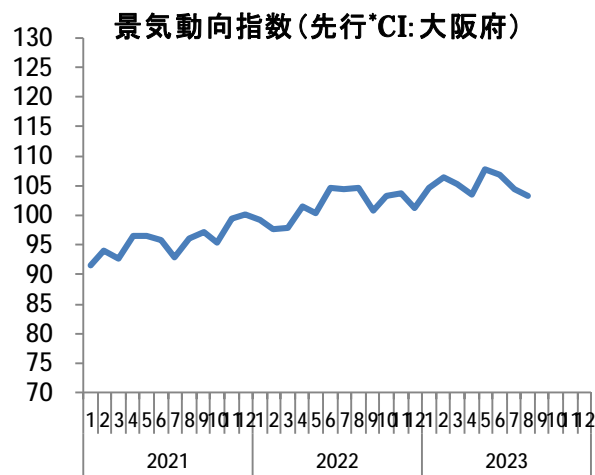
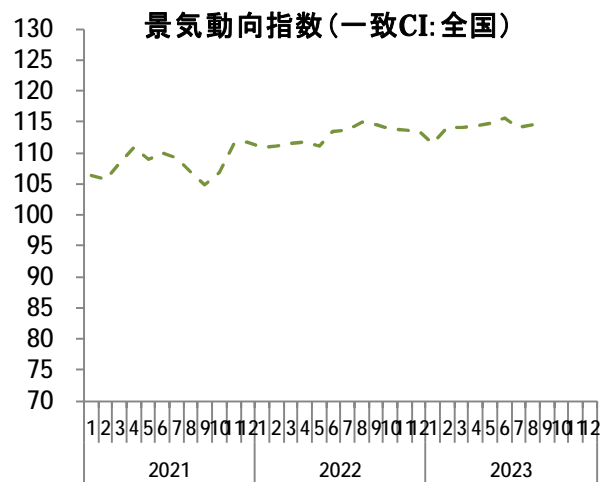
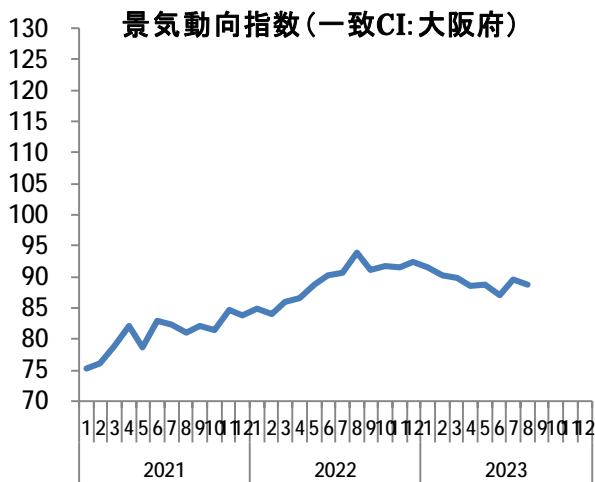
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2023年9月公表分) (2023年7月指標中心)	先月(2023年10月公表分) (2023年8月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター 「大阪経済の情勢」	大阪経済は、緩やかに持ち直している。	大阪経済は、緩やかに持ち直している。
内閣府 「月例経済報告」	景気は、緩やかに回復している。	景気は、緩やかに回復している。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、緩やかに持ち直している。	近畿地域の経済は、緩やかに持ち直している。
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。	関西の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(8月)では、一致CI、先行CIはともに低下。大阪府(一致CI)では、主に「生産財出荷指数」「製造工業生産指数」が低下に寄与。全国(8月)の一致CI、先行CIはともに上昇。】



(資料)大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、
大阪府は 2015 年=100、全国は 2020 年=100

* 先行 CI は、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

大阪府			
	23年7月	8月	9月
先行 CI	104.4	P 103.3	
一致 CI	89.6	P 88.7	

全国			
	23年7月	8月	9月
先行 CI	108.2	109.2	
一致 CI	114.2	114.6	

一致CIの個別系列の寄与度※(大阪府、8月速報)

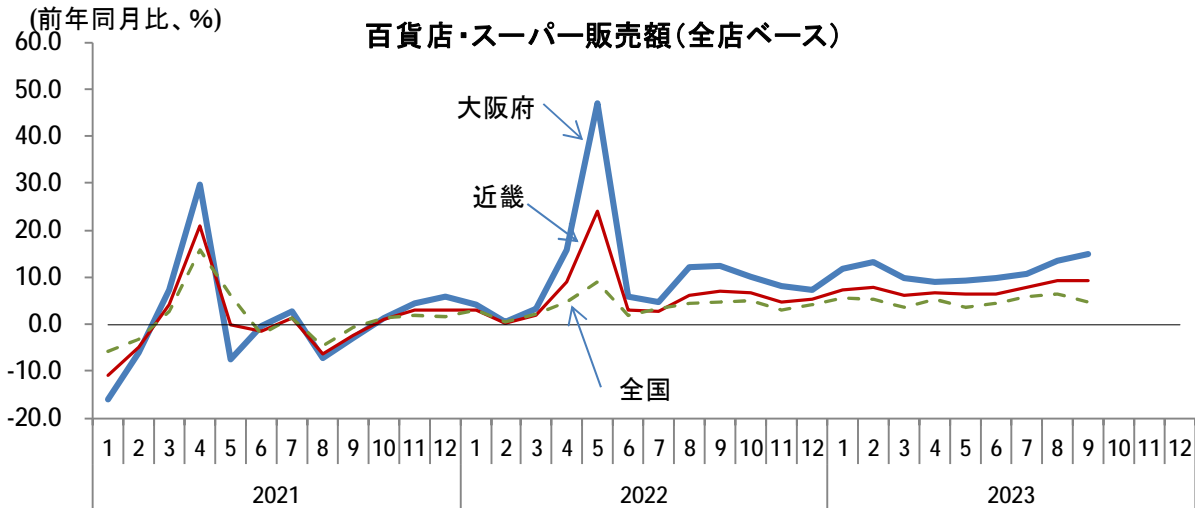
百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
0.61	▲0.13	▲0.64	▲0.92	▲0.41	0.33	0.22

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;8月)は増加。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【24ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		23年7月	8月	9月
販売額(億円)	大阪府	1,675	1,533	P 1,544
前年比(%)	大阪府	10.8	13.6	P 15.0
	近畿	7.8	9.2	P 9.3
	全国	5.9	6.5	P 4.8

百貨店販売額(全店)

		23年7月	8月	9月
前年比(%)	大阪府	15.0	22.3	P 26.0
	全国	7.6	10.9	P 8.1

スーパー販売額(全店)

		23年7月	8月	9月
前年比(%)	大阪府	6.2	6.1	P 4.6
	全国	5.2	5.1	P 3.7

○コンビニエンスストア販売額(全店)【22ヶ月連続の増加。】

		23年7月	8月	9月
販売額(億円)	大阪府	811	812	P 738
前年比(%)	大阪府	7.6	9.9	P 6.7
	近畿	5.9	7.4	P 5.0
	全国	5.2	6.3	P 4.0

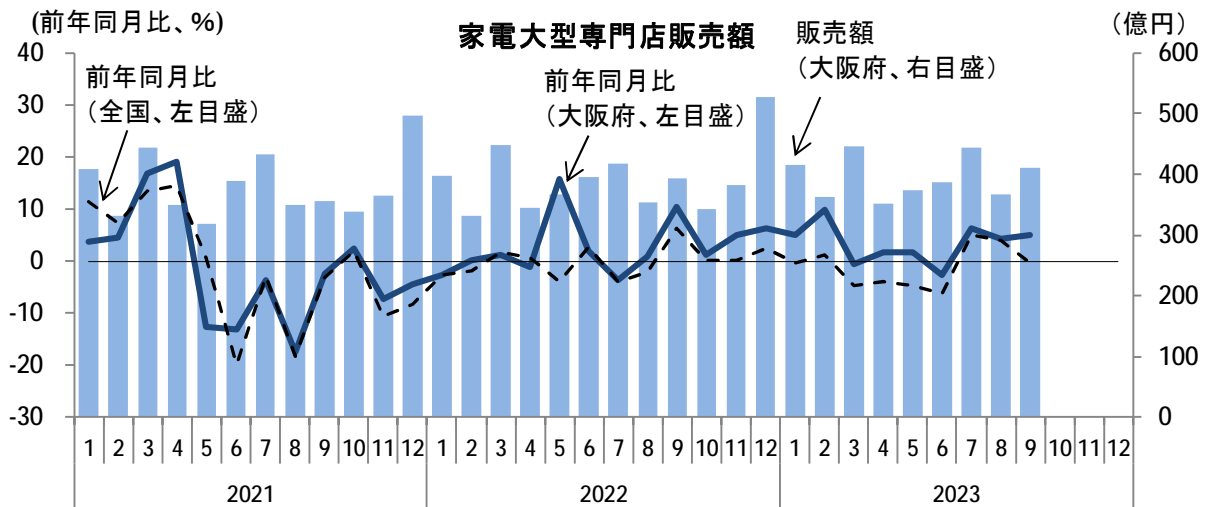
○家計消費支出【近畿(8月)は3ヶ月ぶりの増加。】

		23年7月	8月	9月
円	近畿	279,805	281,186	
前年比(%)	近畿	▲5.2	3.5	
	全国	▲1.3	1.1	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【前年同月比で3ヶ月連続の増加。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		23年7月	8月	9月
前年比 (%)	大阪府	6.3	4.2	P 4.9
	全国	5.0	3.9	P ▲0.4

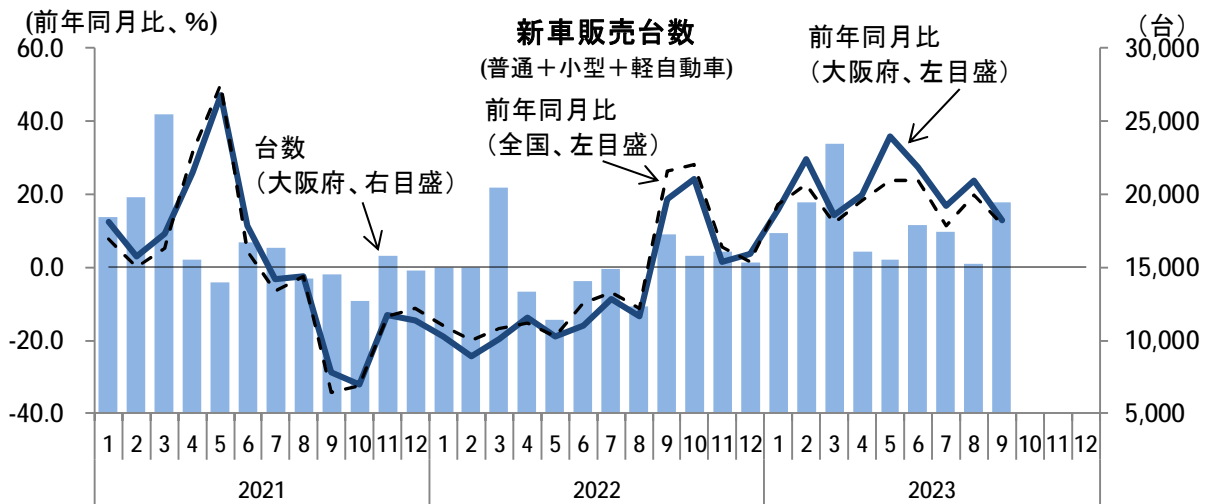
ドラッグストア販売額(全店)

		23年7月	8月	9月
前年比 (%)	大阪府	15.0	11.9	P 13.4
	全国	10.2	7.6	P 10.2

ホームセンター販売額(全店)

		23年7月	8月	9月
前年比 (%)	大阪府	6.2	6.2	P 2.5
	全国	5.2	0.9	P ▲0.9

○新車販売台数【前年同月比で13ヶ月連続の増加。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		23年7月	8月	9月
販売額(台)	大阪府	17,474	15,251	19,498
前年比 (%)	大阪府	17.0	23.9	12.8
	全国	11.4	19.8	11.8

車種別の増減

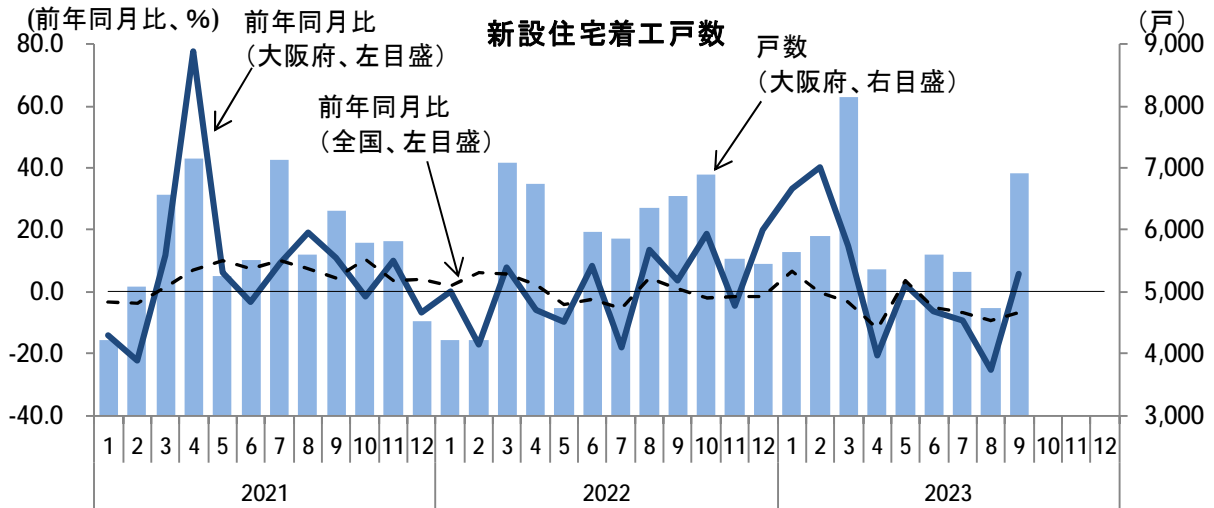
(大阪府、前年同月比(%)、9月)

普通車	小型車	軽自動車
19.1	3.2	10.0

[需要] 投資

投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少。公共投資は増加。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で4ヶ月ぶりの増加。】

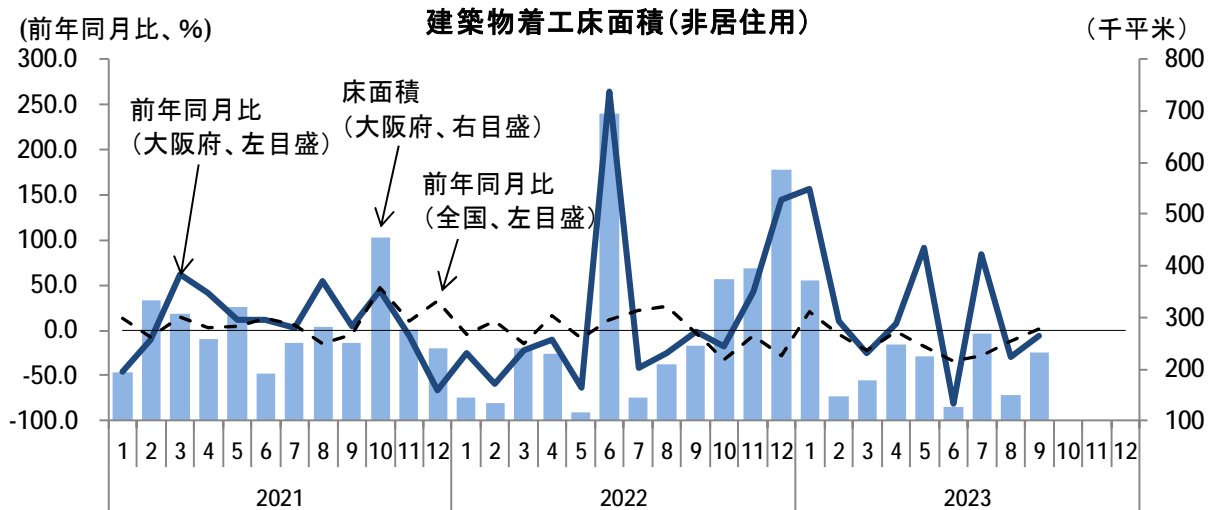


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		23年7月	8月	9月
戸数	大阪府	5,318	4,747	6,907
前年比 (%)	大阪府	▲9.1	▲25.4	5.6
	全国	▲6.7	▲9.4	▲6.8

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%)、9月)		
持家	貸家	分譲
▲0.2	▲1.2	20.2

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で2ヶ月連続の減少。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

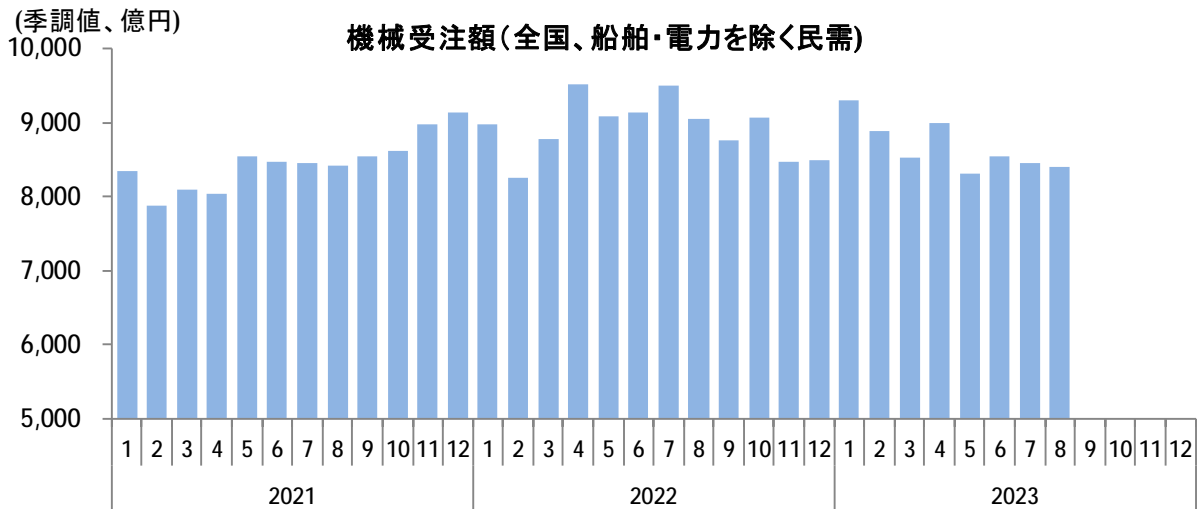
		23年7月	8月	9月
千 m ²	大阪府	268	149	232
前年比 (%)	大阪府	84.0	▲29.2	▲5.7
	全国	▲27.5	▲11.5	0.8

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%))、9月)	
増加	医療・福祉(14.7)、製造業(9.6)
減少	運輸業(▲38.4)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

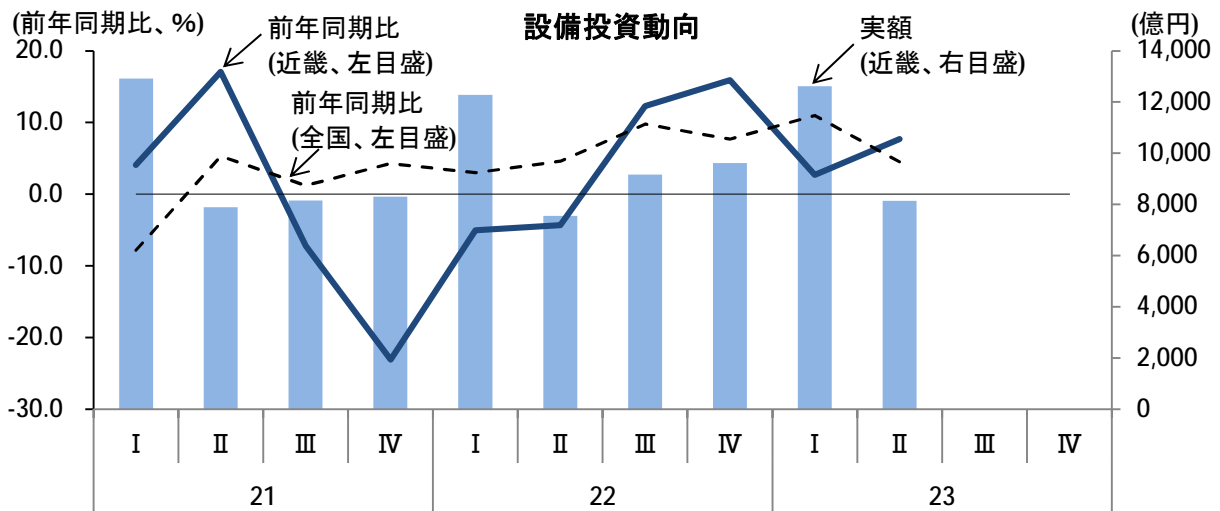
○機械受注額【8月(全国)は前月比で減少。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	23年7月	8月	9月
全国(億円)	8,449	8,407	

○設備投資動向【4~6月期(近畿)は前年同期比で4期連続の増加。「製造業」、「非製造業」はともに増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		22年10~12月	23年1~3月	4~6月
億円	近畿	9,616	12,611	8,142
前年同期比(%)	近畿	15.9	2.7	7.7
	全国	7.7	11.0	4.5

○公共工事請負金額【2ヶ月ぶりの増加。】

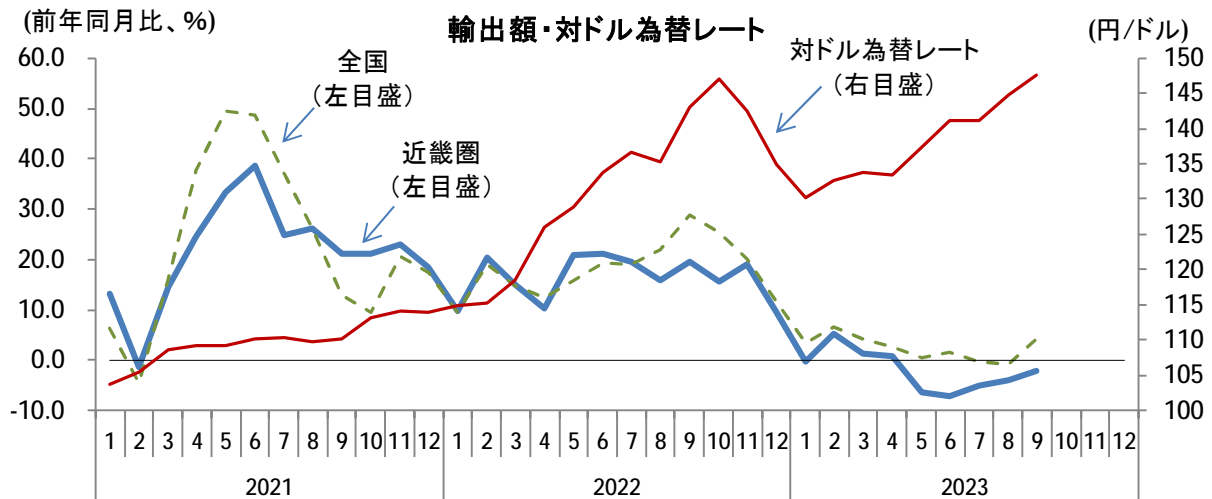
		23年7月	8月	9月
億円	大阪府	635	378	566
前年比(%)	大阪府	80.5	▲10.8	9.6
	全国	6.8	▲3.6	0.1

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

[需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は減少。主要国向けでは、アジア向け・中国向け・ASEAN向けで減少。輸入額は減少。

○輸出額【5ヶ月連続の減少。「半導体等電子部品」、「鉱物性燃料」などが減少。主要国・地域向けでは、アジア向け・中国向け・ASEAN向けで減少。】

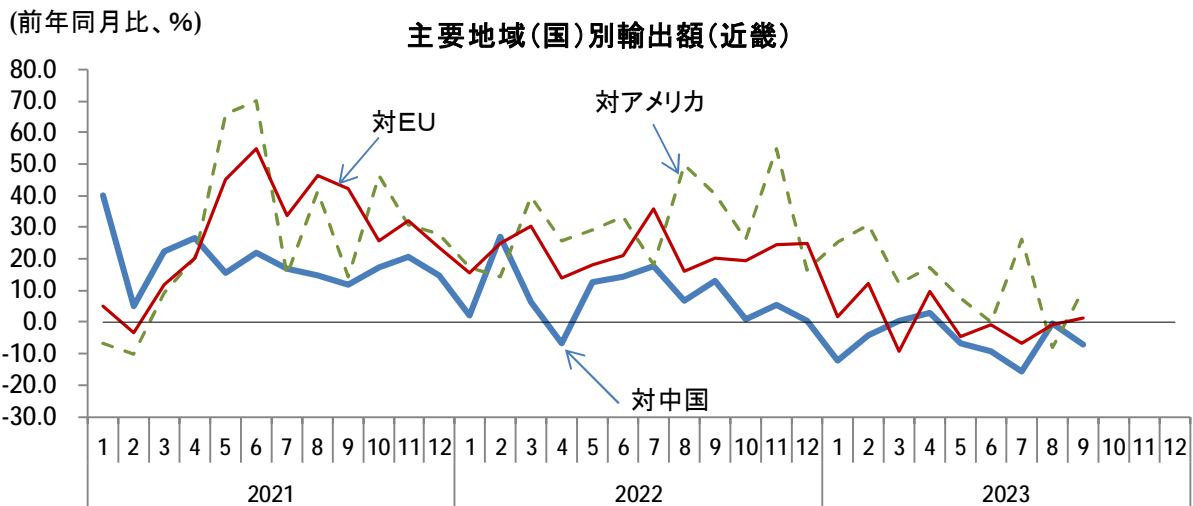


(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		23年7月	8月	9月
輸出額(億円)	近畿	17,637	16,883	P 18,899
前年比 (%)	近畿	▲5.0	▲4.1	P ▲2.2
	全国	▲0.3	▲0.8	P 4.3
為替レート(円/ドル)		141.21	144.77	147.67

品目別の主な増減 (近畿、前年同月から増減額順、9月)	
増加	建設用・鉱山用機械、医薬品
減少	半導体等電子部品、鉱物性燃料



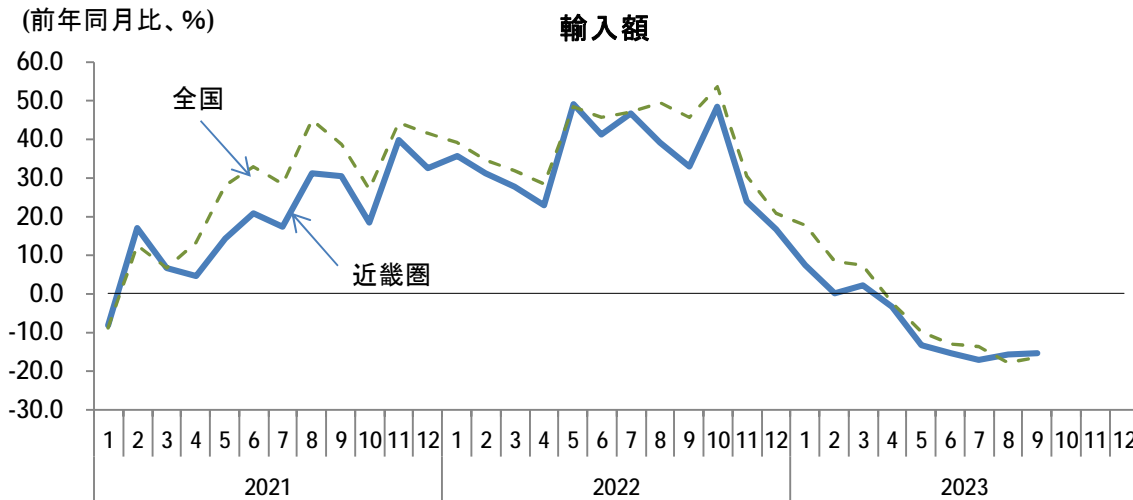
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、9月)

アジア(含む中国)	▲6.5	9ヶ月連続の減少
中国	▲7.1	5ヶ月連続の減少
ASEAN	▲11.3	6ヶ月連続の減少
EU	1.4	5ヶ月ぶりの増加
アメリカ	10.1	2ヶ月ぶりの増加

[需要] 貿易・観光

○輸入額【6ヶ月連続の減少。「原油及び粗油」、「医薬品」などが減少。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		23年7月	8月	9月
輸入額(億円)	近畿	15,696	P 15,359	P 15,675
前年比 (%)	近畿	▲17.0	P ▲15.7	P ▲15.4
	全国	▲13.6	P ▲17.7	P ▲16.3

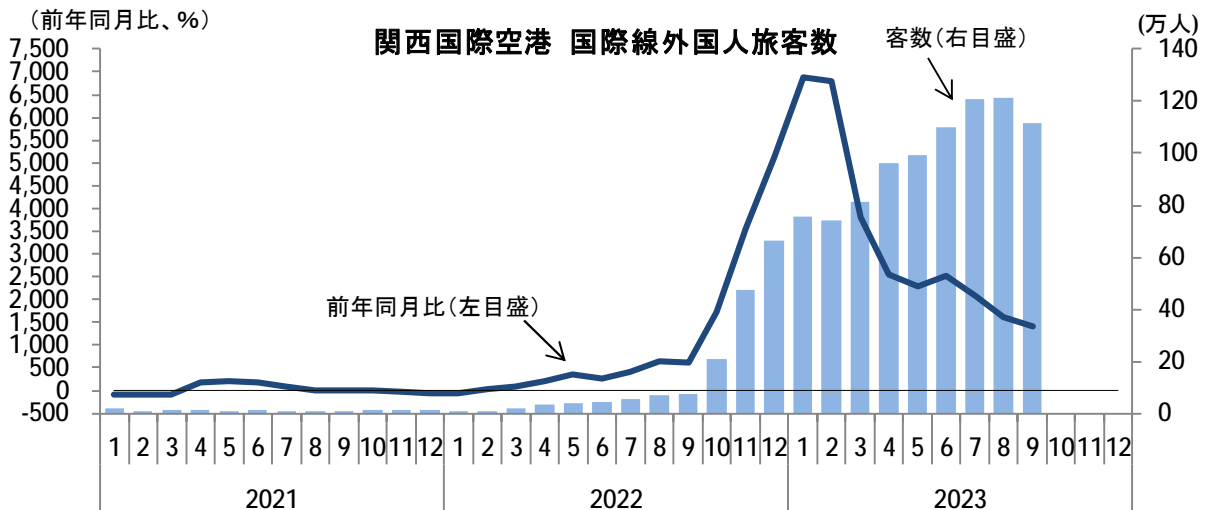
品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、9月)

増加	がん具及び遊戯用具、石油製品
減少	原油及び粗油、医薬品

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%)、9月)

アジア(含む中国)	▲5.7	5ヶ月連続の減少
中国	▲5.9	5ヶ月連続の減少
ASEAN	▲10.5	6ヶ月連続の減少
EU	0.3	2ヶ月連続の増加
アメリカ	▲16.0	4ヶ月連続の減少

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で20ヶ月連続の増加。】



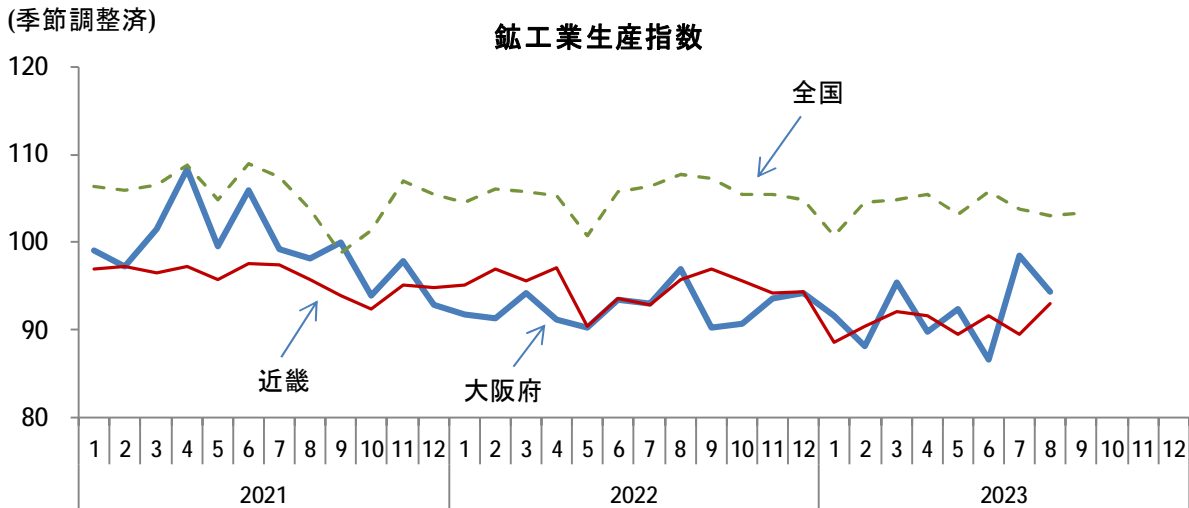
(資料)関西エアポート(株)

	23年7月	8月	9月
万人	120.6	P 121.2	P 111.5
前年比(%)	2070.4	P 1604.9	P 1397.4

[供給] 生産・企業活動

生産動向は、一進一退で推移している。大阪府(8月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(8月)は上昇。全国の生産(9月)は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。

○鉱工業生産指数【大阪府(8月)は2ヶ月ぶりの低下。「化学工業」、「輸送機械工業」などが低下。近畿(8月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの上昇。全国(9月、鉱工業)は3か月ぶりの上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
 ※大阪府は製造工業指数。大阪府、近畿は2015年=100。全国は2020年=100。

鉱工業生産指数

季調済	23年7月	8月	9月
大阪府	98.5	P 94.4	
近畿	89.6	93.0	
全国	103.8	103.1	P 103.3

鉱工業出荷指数

季調済	23年7月	8月	9月
大阪府	93.0	P 89.2	
近畿	89.8	93.6	
全国	103.1	102.8	P 103.2

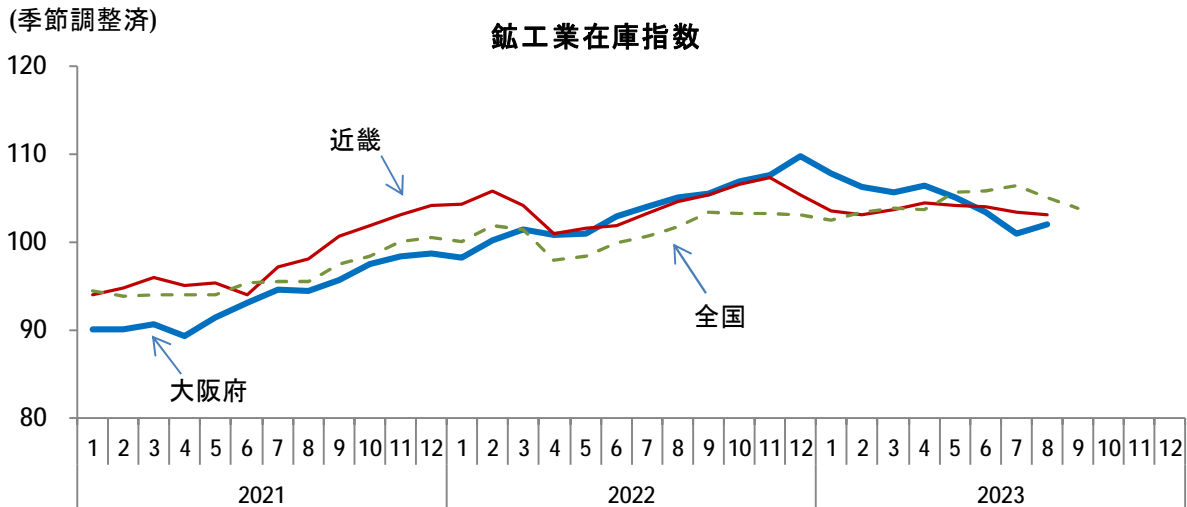
生産指数における産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、8月速報)

上昇	電気・情報通信機械工業(5.4):セパレート形エアコン(室外)、標準変圧器
	生産用機械工業(4.4):超硬工具、ショベル系掘削機械
	汎用・業務用機械工業(6.1):ポンプ、汎用内燃機関
低下	化学工業(▲17.2):医薬品、溶剤系合成樹脂塗料
	輸送機械工業(▲6.9):鉄道車両部品、駆動伝導・操縦装置部品
	石油・石炭製品工業(▲30.1):ガソリン、軽油

[供給] 生産・企業活動

○鉱工業在庫指数【大阪府(8月)は4ヶ月ぶりの上昇。「鉄鋼・非鉄金属工業」、「汎用・業務用機械工業」などが上昇。近畿(8月)は4ヶ月連続の低下。全国(9月)は2ヶ月連続の低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。大阪府、近畿は2015年=100。全国は2020年=100。

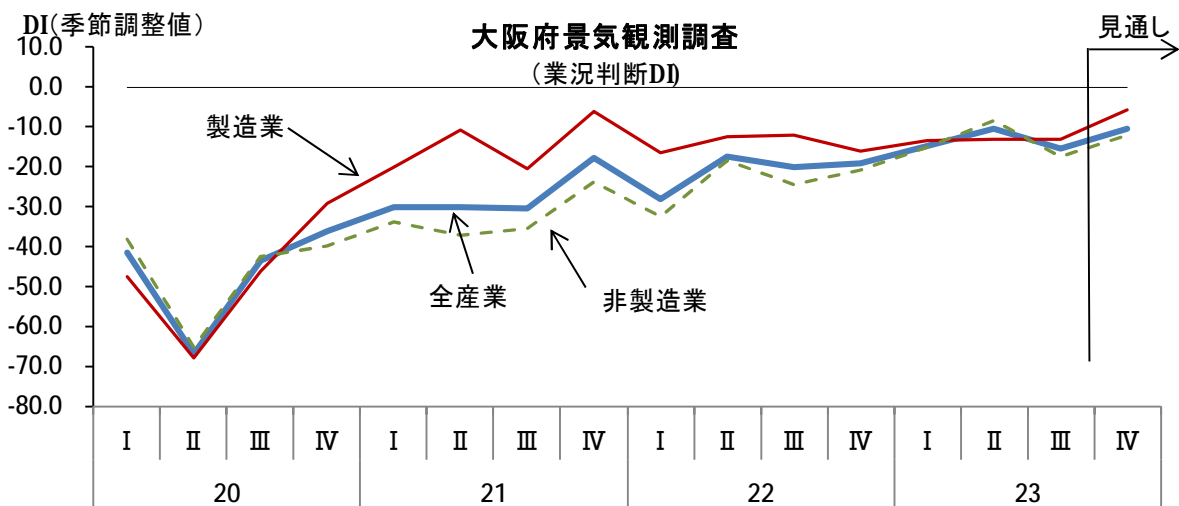
鉱工業在庫指数

季調済	23年7月	8月	9月
大阪府	101.0	P 102.0	
近畿	103.4	103.1	
全国	106.4	105.0	P 103.8

在庫指数における産業別の主な変動
(大阪府、前月比(%)、寄与度順、8月速報)

上昇	鉄鋼・非鉄金属工業(2.1): 鋼半製品、銅荒引線
	汎用・業務用機械工業(3.4): 汎用内燃機関、エアハンドリングユニット
低下	電気・情報通信機械工業(▲3.0): 乾電池、電気冷蔵庫
	化学工業(▲2.2): アンモニア、界面活性剤

○企業の業況判断【7~9月期(全産業)は4期ぶりの悪化。】

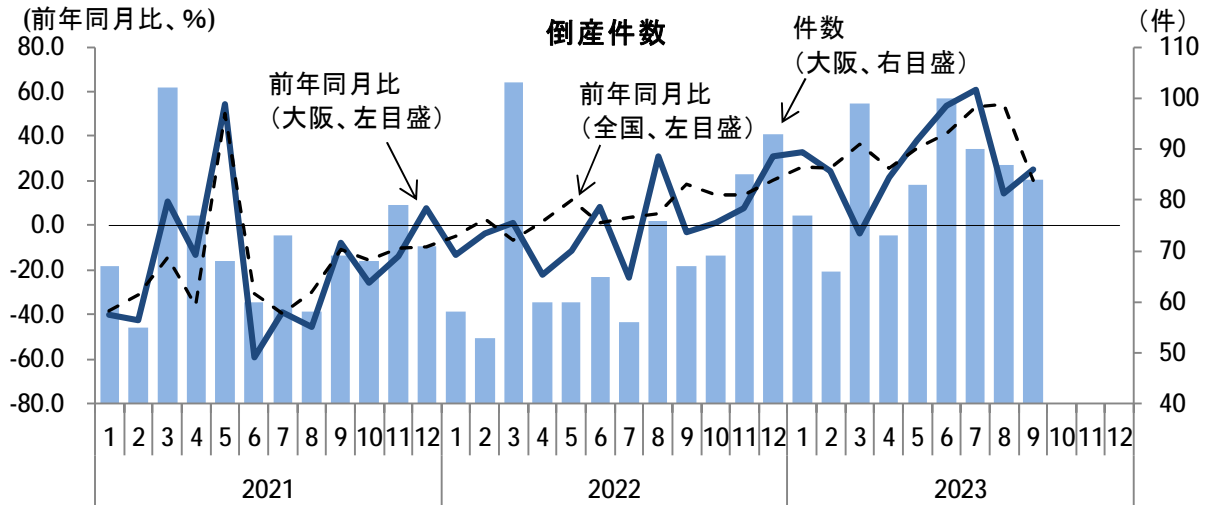


(資料)大阪産業経済リサーチセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	23年1~3月	4~6月	7~9月	10~12月 (見込み)
製造業	▲13.4	▲13.0	▲13.1	▲5.7
非製造業	▲15.0	▲8.3	▲17.4	▲12.0
全産業	▲14.7	▲10.5	▲15.6	▲10.4

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で6ヶ月連続の増加(悪化)、負債金額は前年同月比で2ヶ月ぶりの増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		23年7月	8月	9月
件	大阪府	90	87	84
前年比 (%)	大阪府	60.7	14.4	25.3
	全国	53.4	54.4	20.2

負債金額

		23年7月	8月	9月
億円	大阪府	60	48	207
前年比 (%)	大阪府	44.0	▲72.3	95.6
	全国	91.7	▲2.7	377.6

主要業種の倒産件数(大阪府)

	23年7月	8月	9月
建設業	15	15	19
製造業	10	10	5
卸売業	17	6	16
小売業	9	12	9
サービス業他	31	32	29

主な倒産(大阪府、9月)

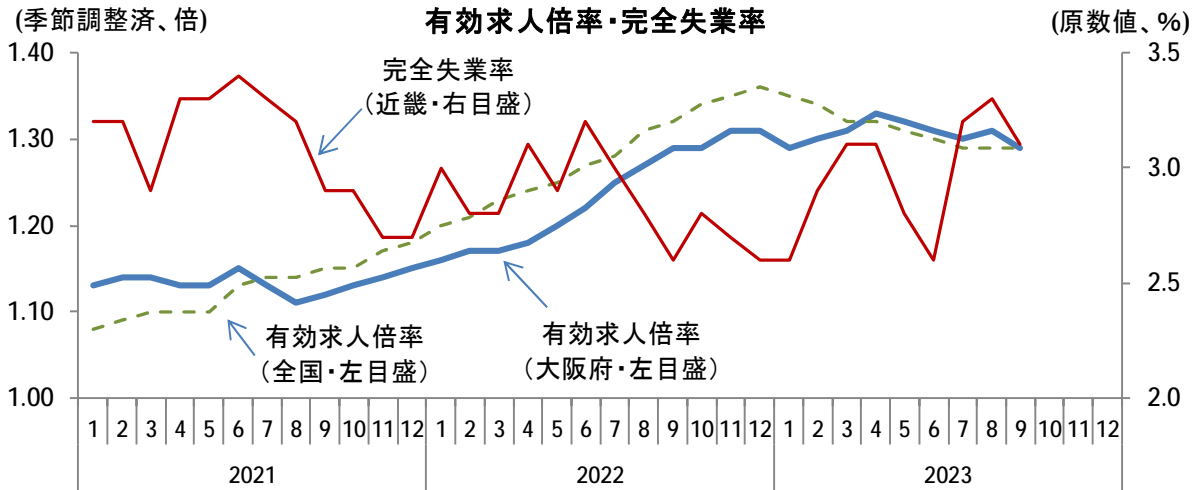
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
医療用機器卸・製造ほか	8,696	放漫経営
日用雑貨品製造	6,200	放漫経営
タイヤ・ホイール販売	1,340	在庫状態悪化
アパレル製品企画販売	1,190	他社倒産の余波

[供給] 雇用

雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(8月)は低下。

○完全失業率【近畿は前年比で3ヶ月連続の悪化】

有効求人倍率【大阪は2ヶ月ぶりの低下】、新規求人倍率【大阪は3ヶ月連続の低下】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	23年7月	8月	9月
%	3.2	3.3	3.1
前年同月差	0.2	0.5	0.5

完全失業率(全国、季節調整値)

	23年7月	8月	9月
%	2.7	2.7	2.6
前月差	0.2	0.0	▲0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	22年10~12月	23年1~3月	4~6月
大阪府	2.8	3.7	3.0
近畿	2.7	2.9	2.8
全国	2.4	2.6	2.7

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	23年7月	8月	9月
大阪府	1.30	1.31	1.29
全国	1.29	1.29	1.29

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	23年7月	8月	9月
大阪府	2.72	2.70	2.62
全国	2.27	2.33	2.22

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

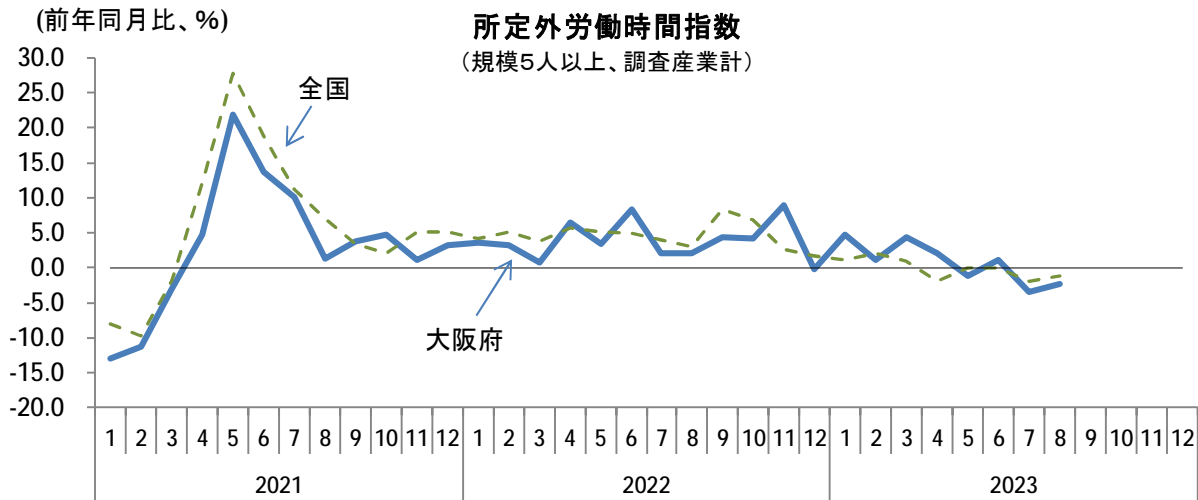
	23年7月	8月	9月
産業計	2.0	4.3	▲1.8
建設業	▲10.8	▲3.4	0.7
製造業	1.0	5.3	▲13.1
卸売業、小売業	12.8	2.1	▲3.5
宿泊業、 飲食サービス業	▲5.1	21.4	6.5
医療、福祉	▲3.2	7.7	▲4.8

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用

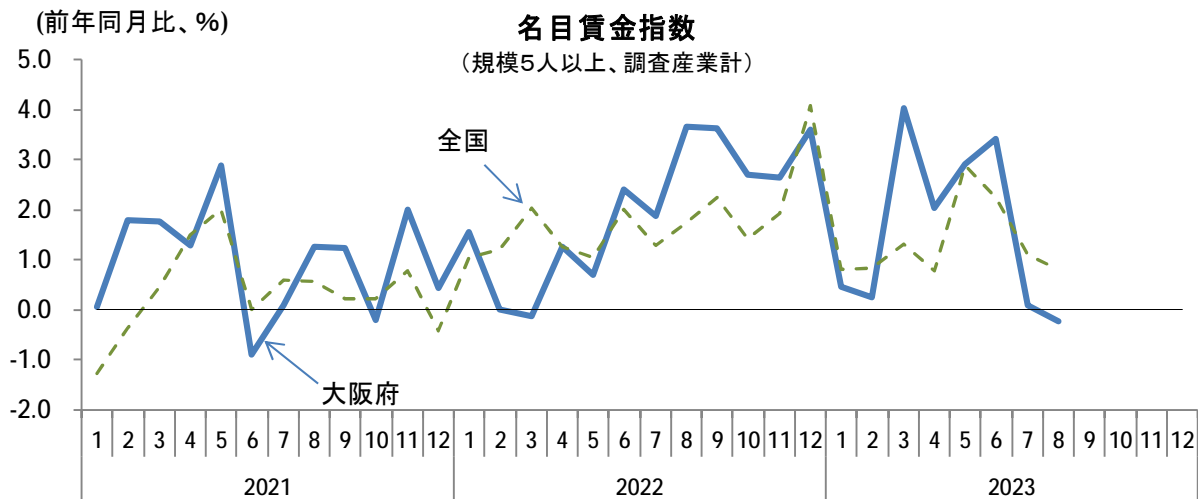
○所定外労働時間指数【大阪府(8月)は2ヶ月連続の低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2020年=100)による。

		23年7月	8月	9月
指数	大阪府	103.5	96.5	
前年比 (%)	大阪府	▲3.4	▲2.3	
	全国	0.0	▲1.1	

○名目賃金指数【大阪府(8月)は17ヶ月ぶりの低下。】

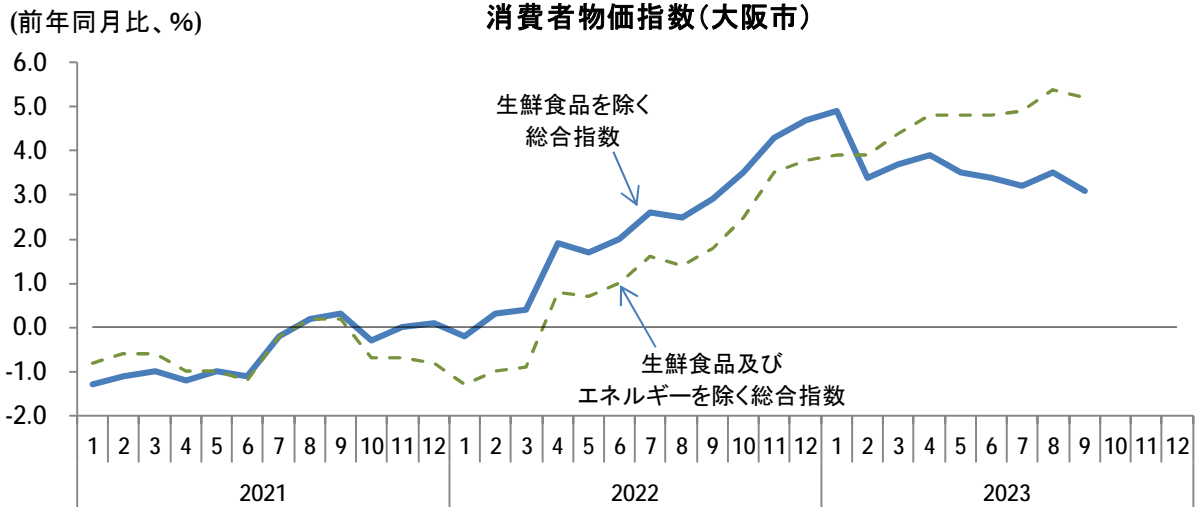


(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2020年=100)による。

		23年7月	8月	9月
現金給与総額(円)	大阪府	409,728	286,428	
前年比 (%)	大阪府	0.1	▲0.2	
	全国	1.1	0.8	

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 20 ヶ月連続の上昇。「食料」「教養娯楽」などが上昇。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 18 ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」
※2020年=100。

総合指数

		23年7月	8月	9月
指数	大阪市	105.4	105.6	P 105.8
前年比 (%)	大阪市	3.3	3.6	P 3.2
	全国	3.3	3.2	3.0

生鮮食品を除く総合指数

		23年7月	8月	9月
指数	大阪市	105.2	105.4	P 105.2
前年比 (%)	大阪市	3.2	3.5	P 3.1
	全国	3.1	3.1	2.8

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		23年7月	8月	9月
指数	大阪市	105.7	106.0	P 106.0
前年比 (%)	大阪市	4.9	5.4	P 5.2
	全国	4.3	4.3	4.2

総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、9月速報)

上昇	食料(9.0): 乳卵類(鶏卵、牛乳、粉ミルク)、菓子類(プリン、シュークリーム、せんべい)
	教養娯楽(5.2): 書籍・他の印刷物(新聞代(全国紙)、月刊誌、週刊誌)、教養娯楽サービス(宿泊料、ゴルフプレー料金、文化施設入場料)
低下	光熱・水道(▲13.9): 電気代(電気代)、ガス代(都市ガス代、プロパンガス)

